

New 国際交流員ライアンさんをご紹介します!



皆さん、こんにちは！私はライアン・ビゲロです。豊橋市の三人目の国際交流員（CIR）として8月より豊橋市役所に勤務しています。豊橋市の姉妹都市であるアメリカ・オハイオ州トリード市の出身です。トリード大学で日本文学と心理学を勉強し、2001年に卒業しました。

私が子ども時代を過ごした1980年代後半のアメリカは、日本ブームの真っ只中にあり、日本からやってきた映画、おもちゃ、本などは生活の中で当たり前存在し、簡単に手に入りました。そのため、私は子どもの頃から忍者や侍の国“Japan”に親しみを持っていました。

そして私は、ついに2001年に日本へ行く機会に恵まれ、一年間豊橋で生活を送ることになりました。そのうちにますます日本に興味を持つようになり、特に日本語の能力をもっと上達させたいと思うようになりました。そして、日本語を使う仕事を見つけて日本へ戻ってこようと決心したのです。その結果、CIRとして今回の仕事に就くことができ、再び豊橋へ戻ってきました。

私の生活は、仕事でもプライベートでも、日本語の勉強が中心です。仕事ではもちろん、職場の人は日本語しか話さないし、私の業務の一つは日⇄英の翻訳と通訳です。日本語ばかりです。これは日本語があまり上手に話せない私にとって、良い面、悪い面の両方があります。悪い面は、職場で自分の言いたいことが言えないことや職場の人の言っていることが分からなくて困ることです。しかし、それより良い面の方が多いと思います。いつも日本語を読む、聞く、話す、書くことで絶対に（いつか）上手になるでしょう。

アフター5の生活も、同様に日本語中心です。日本人の友達と話をし、日本の小説を読み、ショッピングし、テレビを見る、何をしても日本語が必要です。毎日毎日がすごいチャレンジになっていますが、日本語をマスターする目標を忘れずにがんばることは、やりがいのある生活だと思います。

最近日本語能力が少しずつ上がってきたので、簡単な会話ができるようになりました。そして豊橋の皆さんと話すと、よくトリード市と豊橋市の様々な相違点が話題になります。もちろん、人口、天気、地理、産業等と相違がたくさんあります。しかしそれは、うわべだけの相違だと思えます。文化、人種、国が違ってても人の気持は同じです。アメリカ人も皆さんと同じように、悩みを持

ち、将来への夢や希望を抱き、目標に向かって生活しているのです。このことは、私がほぼ1年という期間を日本で暮らし、多くの日本人とふれあってきたことにより理解することができたのだと思います。

学業や仕事についている人々にとって、海外へ行き、そこでの生活を経験するという機会はあまりないでしょう。しかし、私は“国際交流員”という、独特な仕事に就いていますので、私が積極的にふれあいの場をもつことにより、人々の国際理解を高めるために貢献できると思っています。学校でスピーチしたり、手紙を翻訳したり、市電に乗って隣の人と話をしたり、私には豊橋に住んでいるいろいろな人とふれあう機会があるのです。

私とのふれあいを通して、国際化を進める上でもっとも大切な部分、政治や宗教、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが、内面は少しも変わらないんだ、気持は同じなんだ、ということを感じ取ってくれば素晴らしいなと思っています。

News! あの人は今!

ジムさんの近況報告♪

今年7月まで、豊橋市国際交流員として活躍していたジムことジェームス・パトリックさんは、現在、愛知県の国際交流員として名古屋で勤務しています。

万博や新空港といった大きな事業を控え、翻訳などの仕事で忙しい毎日を送っているようです。

また9月からは、ZIP-FMの外国人向け情報提供番組「GLOBAL VOICE」（月～木曜23：37～23：45）の月曜日“英語”を担当しています。ナビゲーターとの掛け合いもあるということで、久しぶりにジムさんのジョークが聴けるかも…。

ぜひ聴いてみてくださいね!



ハートにキュン！ 親・近・感！



豊橋商工信用組合

会長 加藤 春夫
理事長 兵藤 俊朗

豊橋市駅前大通三丁目55番地 TEL (0532) 53-2828